9.41 試薬・試液

以下の試薬を次のように改める.

デヒドロコリダリン硝化物，定量用　$C_{22}H_{24}N_2O_7$　薄層クロマトグラフィー用デヒドロコリダリン硝化物．ただし，次の試験に適合するもの

吸光度〈*2.24*〉　$E^{1\%}_{1cm}$(333 nm)：577～642 (3 mg，水，500 mL)．ただし，デシケーター(シリカゲル)で1時間以上乾燥したもの．

純度試験　類縁物質　本品5.0 mgを移動相10 mLに溶かし，試料溶液とする．この液1 mLを正確に量り，移動相を加えて正確に100 mLとし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液5 μLずつを正確にとり，次の条件で液体クロマトグラフィー〈*2.01*〉により試験を行う．それぞれの液の各々のピーク面積を自動積分法により測定するとき，試料溶液のデヒドロコリダリン以外のピークの合計面積は，標準溶液のデヒドロコリダリンのピーク面積より大きくない．

試験条件

カラム，カラム温度，移動相及び流量は「エンゴサク」の定量法の試験条件を準用する．

検出器：紫外吸光光度計(測定波長：230 nm)

面積測定範囲：硝酸のピークの後からデヒドロコリダリンの保持時間の約3倍の範囲

システム適合性

システムの性能及びシステムの再現性は「エンゴサク」の定量法のシステム適合性を準用する．

検出の確認：標準溶液1 mLを正確に量り，移動相を加えて正確に20 mLとする．この液5 μLから得たデヒドロコリダリンのピーク面積が，標準溶液5 μLから得たデヒドロコリダリンのピーク面積の3.5～6.5%になることを確認する．